



# 第45回 鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：一般社団法人 日本鋼構造協会

協 賛

(一社)色材協会 (公社)土木学会 (一社)日本橋梁建設協会  
(一社)日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 (一社)日本鉄鋼協会  
(一社)日本塗装技術協会 (一社)日本塗料工業会  
(一財)日本塗料検査協会  
(公社)腐食防食学会 (公財)スガウエザリング技術振興財団

■本討論会は土木学会認定 CPD プログラムです。

【認定番号：10月20日 JSCE22-1025・10月21日 JSCE22-1026】

新型コロナウイルス感染症対策に対する基本的対処方針が見直され、防疫措置の緩和による経済社会活動の回復が期待される一方で、ウクライナ情勢は長期化の様相を見せており、食糧やエネルギーの供給が制約され原材料価格が高騰するなど、世界規模の景気後退が生じる恐れも指摘されています。このような状況の中においても、わが国では年々激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、引き続き防災・減災の取組みを強力に推進して行かなければなりません。

インフラ構造物は人々の命や暮らしを守り、社会・経済活動を支える重要な社会基盤であり、災害時にもその機能を発揮することが求められます。これらの多くは高度経済成長期以降に集中的に整備されており、今後、建設から50年以上経過する老朽化施設が加速的に増加していきませんが、老朽化によるインフラの機能不全を招かぬためには、平時から計画的に維持管理・更新を進めていかなければなりません。このことから、インフラ構造物の維持管理・更新の生産性向上や高度化、効率化に資する技術への期待はますます高まっており、鋼構造物を腐食から守る防食技術が担う役割は今後一層大きくなるものと思われます。

各種の防食技術がある中で、塗装は明治以来の長年にわたって適用されてきた信頼性を有しており、重要な地位を占めています。最近でもなお、従来よりもさらなる高耐久化、施工効率の改善、環境リスクの低減、労働安全衛生の確保といった様々な方向性で、塗料・塗装技術の改善が精力的に続けられており、この分野のさらなる発展が望まれています。本討論会は、これら塗料・塗装に関連する技術の発表と討論の場として活用されることを期待し、開催するものです。

今年度の特別講演として、初日は(一社)サステナブル経営推進機構の澤村翔太氏に「塗料・塗装分野におけるカーボンニュートラルに向けた取り組み(仮題)」を、2日目には(国研)土木研究所前理事長の西川和廣氏に「鋼橋塗装の寿命を延ばすー多摩川スカイブリッジの設計コンセプト」をテーマにそれぞれお話しいただきます。次頁の要領にて開催いたしますので、ふるってご参加くださいますよう、また、関係各位へのご連絡ともども宜しく願いいたします。

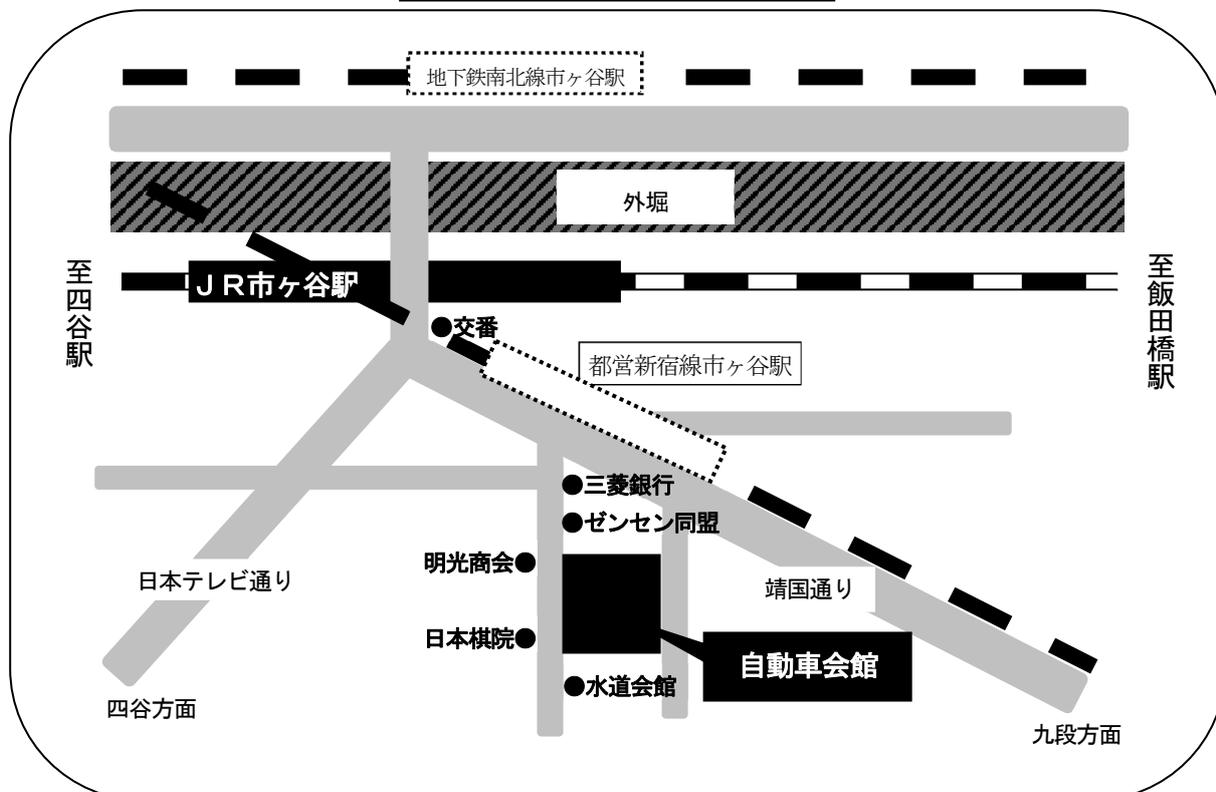
今年度も本討論会へ多数のご参加をいただきますよう、宜しく願いいたします。

鉄構塗装技術討論会実行委員長：富山 禎仁(鋼構造物塗装小委員会委員長)

# 開催要領

1. 日 時：2022年10月20日(木)～21日(金)
2. 会 場：自動車会館 2階 大会議室  
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参加費：会員(協賛団体も含む)…10,000円(消費税、発表予稿集代込み)  
一般 …13,000円( “ )  
官公庁職員・学生 …10,000円( “ )
4. 申込方法：下記よりお申込下さい。  
指定の用紙を協会宛てにメールしてください。  
**申込期日は、9月30日(金)とします。**  
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しは致しませんので  
ご注意ください。(後日、討論会発表予稿集を送付させていただきます。)
5. 問合せ先：一般社団法人日本鋼構造協会「第45回鉄構塗装技術討論会」係  
【E-mail: [jssc-paint@jssc.or.jp](mailto:jssc-paint@jssc.or.jp)】  
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-15-8 アミノ酸会館ビル3階  
TEL. 03-3516-2155

## 会場案内図



## 【第1日】 10月20日（木）

10:00~10:05	開会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 委員長：富山 禎仁（(国研)土木研究所）		
司 会：松野 英則（大日本塗料(株)）				
①	10:05 ～ 10:35	塗装された鋼板を動力工具により鋼材粗面とした面と無機ジンクリッチペイント面の異種接合面を有する高力ボルト摩擦接合継手のすべり耐力試験	○酒井武志 (株)巴コーポレーション	北根安雄（京都大学） 池田龍哉（池田工業(株)） 中嶋浩之（(株)巴コーポレーション） 三ツ木幸子（(iエンジニアリング(株)）
②	10:35 ～ 11:05	暴露試験片の分析	○尾知修平 (株)AGC	山根 大（(株)AGC）
③	11:05 ～ 11:35	素地調整後の残存塩分が塗膜耐久性に与える影響の検討－暴露10年後の調査結果－	○島袋智尋 (国研)土木研究所	富山禎仁（(国研)土木研究所）

＜ 昼 休：11時35分～12時50分＞

<b>特別講演</b>			（司 会：坂本 達朗（(公財)鉄道総合技術研究所））	
12:50~13:50	塗料・塗装分野におけるカーボンニュートラルに向けた取り組み	一般社団法人サステナブル経営推進機構 コンサルティング事業部 事業企画室 主査/副主任研究員 澤村翔太		

＜ 休 憩：13時50分～14時05分＞

司 会：大庭 哲也（日本ファブテック(株)）				
④	14:05 ～ 14:35	海浜環境における腐食鋼材の特性評価	○関島竜太 (一財)日本塗料検査協会	富山禎仁（(国研)土木研究所） 島袋智尋（(国研)土木研究所） 尾田 光（大日本塗料(株)） 太田優輝（関西ペイント(株)） 石川隆士（日本ペイント(株)） 小林泰之（中国塗料(株)） 田代 稔（神東塗料(株)）
⑤	14:35 ～ 15:05	重防食用塗り替え塗装系の性能評価－暴露3年後の調査結果－	○太田優輝 関西ペイント(株)	富山禎仁（(国研)土木研究所） 島袋智尋（(国研)土木研究所） 石川隆士（日本ペイント(株)） 小林泰之（中国塗料(株)） 田代 稔（神東塗料(株)） 尾田 光（大日本塗料(株)）

＜ 休 憩：15時05分～15時20分＞

司 会：松本 洋明（日鉄防食(株)）				
⑥	15:20 ～ 15:50	ブラスト処理の異なる塗装鋼板におけるサイクル腐食試験の影響	○比留川伸司 (一財)日本塗料検査協会	松本倫毅（(一財)日本塗料検査協会）
⑦	15:50 ～ 16:20	水洗によるさび中の塩分除去評価に関する一考察	○坂本達朗 (公財)鉄道総合技術研究所	中山太士（日綜産業(株)） 和田直樹（西日本旅客鉄道(株)）
⑧	16:20 ～ 16:50	塩害地域橋梁におけるブラスト施工法の提案	○鈴木隼人 建設塗装工業(株)	中西 巧（建設塗装工業(株)） 晶中 優（東日本旅客鉄道(株)）

（懇親会は中止と致します。）

## 【第2日】 10月21日（金）

司会：藤城 正樹（日本ペイント株）				
⑨	10:00 ～ 10:30	素地調整にブラストを適用した鋼鉄道橋塗膜の耐久性の検証	○中山太士 日綜産業株	和田直樹（西日本旅客鉄道株） 坂本達朗（公財）鉄道総合技術研究所
⑩	10:30 ～ 11:00	鋼鉄道橋に対する種々の素地調整手法の作業性評価	○和田直樹 西日本旅客鉄道株	佐藤和久（西日本旅客鉄道株） 中山太士（日綜産業株） 坂本達朗（公財）鉄道総合技術研究所
⑪	11:00 ～ 11:30	鋼鉄道橋におけるブラストの施工性の検証	○土井大雅 日綜産業株	増田泰久（日綜産業株） 中山太士（日綜産業株） 和田直樹（西日本旅客鉄道株） 坂本達朗（公財）鉄道総合技術研究所

＜昼 休：11時30分～12時45分＞

特 別 講 演			（司会：富山 禎仁（前掲））
12:45～13:45	鋼橋塗装の寿命を延ばす －多摩川スカイブリッジの設計コンセプト－	国立研究開発法人土木研究所 前理事長 西川和廣	

＜休 憩：13時45分～14時00分＞

司会：山根 大（AGC株）				
⑫	14:00 ～ 14:30	高遮断性剥離抑制型塗料の防食性評価について	○坂口聡彦 株）四国総合研究所	大捕秀基（株）四国総合研究所 西森修次（株）四国総合研究所 山内健一郎（大日本塗料株） 清水悠平（大日本塗料株） 加藤瑞樹（大日本塗料株）
⑬	14:30 ～ 15:00	ヒートサイクル試験による塗膜の剥離評価に関する基礎的検討	○岩井将樹 株）高速道路総合技術研究所	服部雅史（株）高速道路総合技術研究所 西森修次（株）四国総合研究所 坂口聡彦（株）四国総合研究所

＜休 憩：15時00分～15時15分＞

司会：井合 雄一（株）IHI				
⑭	15:15 ～ 15:45	桁端部塗装模擬試験体の暴露評価と秋田県での金属溶射の耐久性評価に関する報告	○大庭哲也 （一社）日本橋梁建設協会	前田 博（一社）日本橋梁建設協会 平野 晃（一社）日本橋梁建設協会 花輪 務（一社）日本橋梁建設協会
⑮	15:45 ～ 16:15	米国道路橋塗装工事の新しい標準仕様	○片脇清士 合同会社管理技術	
16:15～16:20	閉会の辞	鉄構塗装技術討論会 実行委員会 幹事長：坂本 達朗（前掲）		